

第2章 児童相談所の業務実施状況

1 令和6(2024)年度の相談受付状況

(1) 新規相談受付件数(栃木県総計)

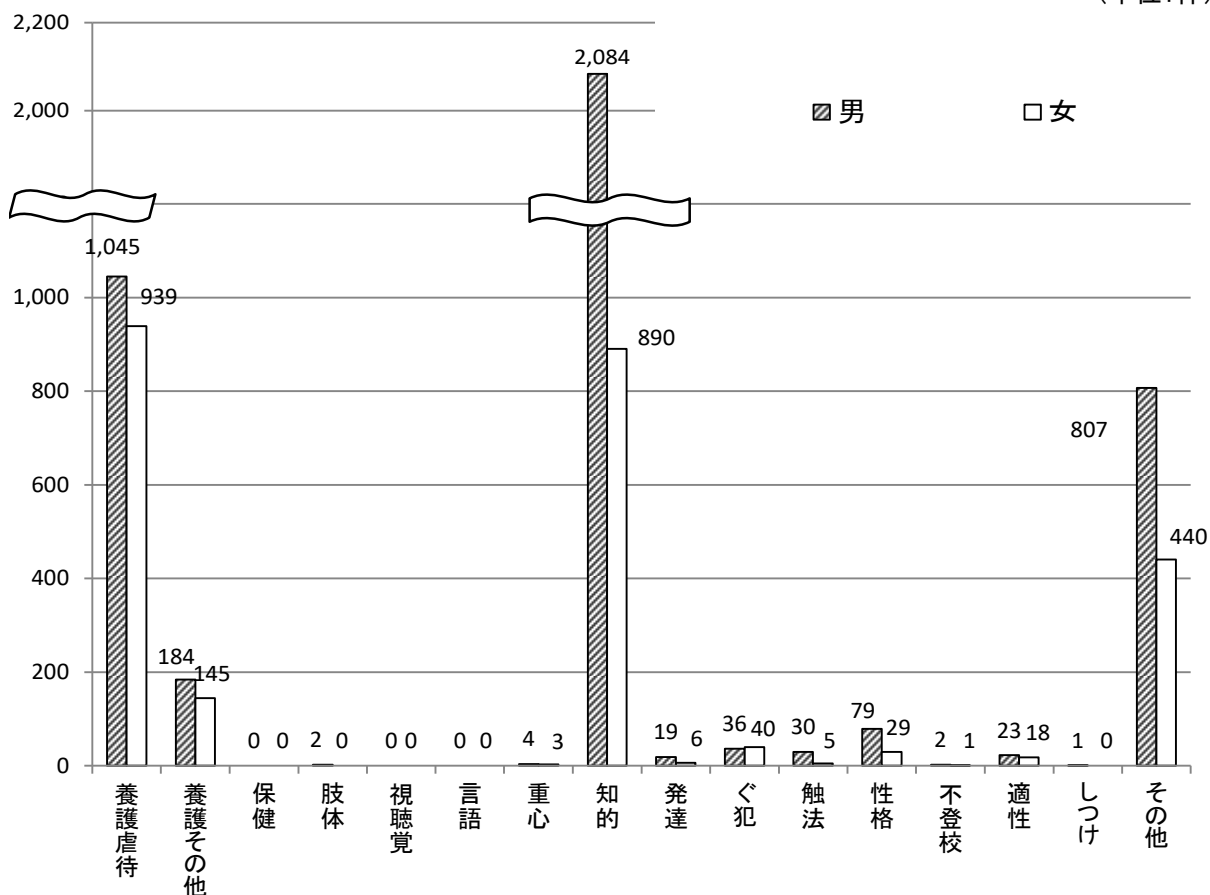
児童相談所における、令和6(2024)年度の電話相談を含まない新規受付件数は各児相合わせて6,832件である。これは、県内全児童数約25万4千人の2.7%、1万人当たり269人の割合で受け付けたことになる。

県内全児童数約25万4千人の児童相談所別比率は中央45.8%（11万6千人）、県南36.0%（9万1千人）、県北18.2%（4万6千人）であり、新規受付件数の児童相談所別比率は中央46.8%（3,195件）、県南33.8%（2,308件）、県北19.4%（1,329件）という状況である。

(単位:件)

相談種別 児相・男女別		養護		保 健	肢 体 不 自 由	視 聴 覚 障 害	言 語 発 達 障 害	重 症 心 身 障 害	知 的 障 害	発 達 障 害	ぐ 犯 行 為 等	触 法 行 為 等	性 格 行 動	不 登 校	適 性	し つ け	そ の 他	計
		児童虐待相談	その他の相談															
中央	男	526	90		1			1	902	19	12	8	33	1	6		425	2,024
	女	431	65						419	6	22	4	12		1		211	1,171
県南	男	345	52		1			3	779		14	18	26	1	16	1	190	1,446
	女	361	48					2	308		14	1	8	1	14		105	862
県北	男	174	42						403		10	4	20		1		192	846
	女	147	32					1	163		4		9		3		124	483
男女計	男	1,045	184		2			4	2,084	19	36	30	79	2	23	1	807	4,316
	女	939	145					3	890	6	40	5	29	1	18		440	2,516
計		1,984	329		2			7	2,974	25	76	35	108	3	41	1	1,247	6,832

(単位:件)



(2) 経路別・男女別受付状況（栃木県総計）

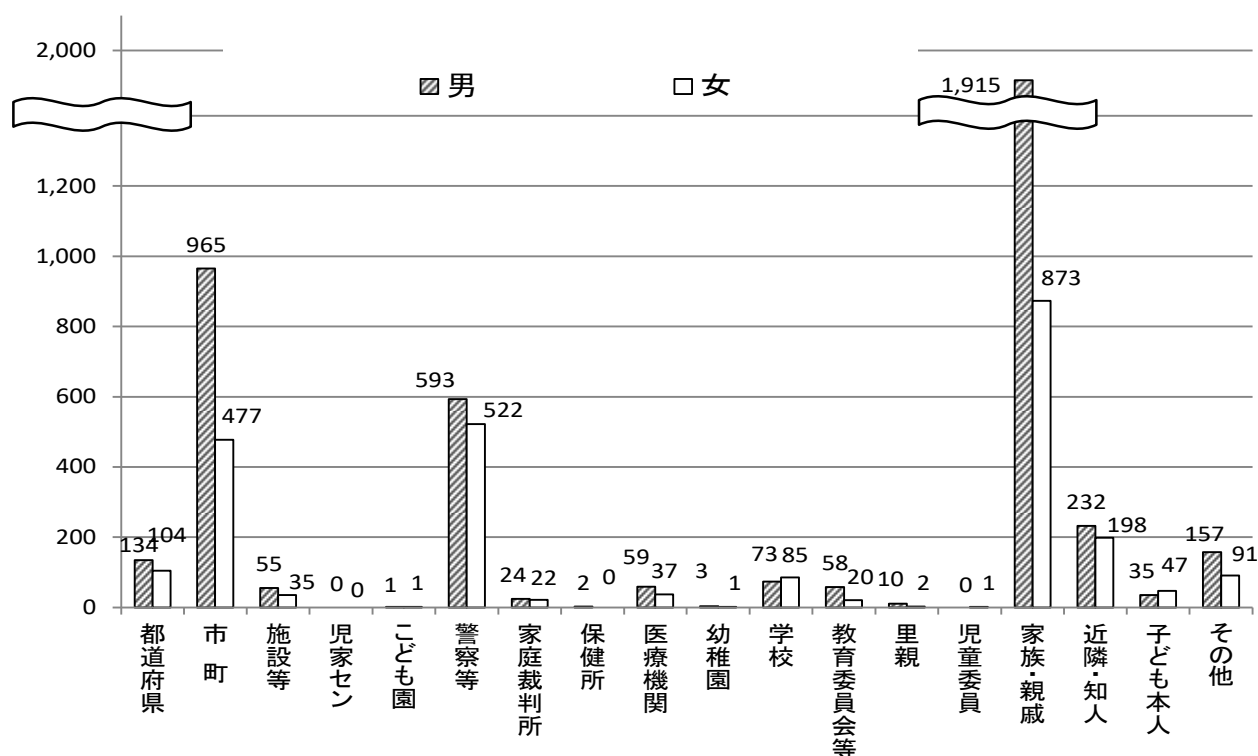
新規相談受付件数6,832件の受付経路別・男女別の相談件数である。経路別では家族・親戚からが最も多く、全体の40.8%を占め、次いで市町からで、全体の21.2%となっている。男女別で見ると、男児が女児より多く、63.2%の割合である。

なお、受付経路の「その他」には、ハローワークや鑑別所などが含まれる。

（単位：件）

児 相	区 分	都 道 府 県	市 町	児童福祉施設・ 指定医療機関	児童家庭 支援センター	こども 園	警 察 等	家 庭 裁 判 所	保健所及び 医療機関		学 校 等			里 親	児 童 委 員	家 族 ・ 親 戚	近 隣 ・ 知 人	子 ど も 本 人	そ の 他	計
									保 健 所	医 療 機 関	幼 稚 園	学 校	教 育 委 員 会 等							
中央	男	69	424	23		1	301	6	2	29		25	45	3		907	108	15	66	2,024
	女	47	219	20		1	236	4		20		42	16	1		415	87	14	49	1,171
県南	男	51	362	23			188	14		21	3	21	7	3		591	92	13	57	1,446
	女	40	156	9			198	15		12	1	24	2		1	277	85	18	24	862
県北	男	14	179	9			104	4		9		27	6	4		417	32	7	34	846
	女	17	102	6			88	3		5		19	2	1		181	26	15	18	483
男女計	男	134	965	55		1	593	24	2	59	3	73	58	10		1,915	232	35	157	4,316
	女	104	477	35		1	522	22		37	1	85	20	2	1	873	198	47	91	2,516
合計		238	1,442	90		2	1,115	46	2	96	4	158	78	12	1	2,788	430	82	248	6,832
構成比 (%)		3.5	21.2	1.3		0.0	16.3	0.7	0.0	1.4	0.1	2.3	1.1	0.2	0.0	40.8	6.3	1.2	3.6	100.0

（単位：件）



(3) 年齢別・相談種別受付状況（栃木県総計）

新規相談受付件数（電話相談を除く）6,832件の年齢別・相談種別の受付状況である。

年齢的には、養護相談や発達の遅れに関する相談が就学に至るまで、非行及び性格行動に関する相談は、問題が生じやすい小学校高学年から中学生に多い。

なお、児童相談所の相談対象年齢は18歳未満となつてはいるが、児童福祉施設に入所している場合や、里親に委託されている場合などは、在学期間中の措置延長など18歳以上でも相談の対象となる。

相談種別の「その他」については、療育手帳の記載事項変更や再交付申請、就学や就労のための意見書依頼などがある。

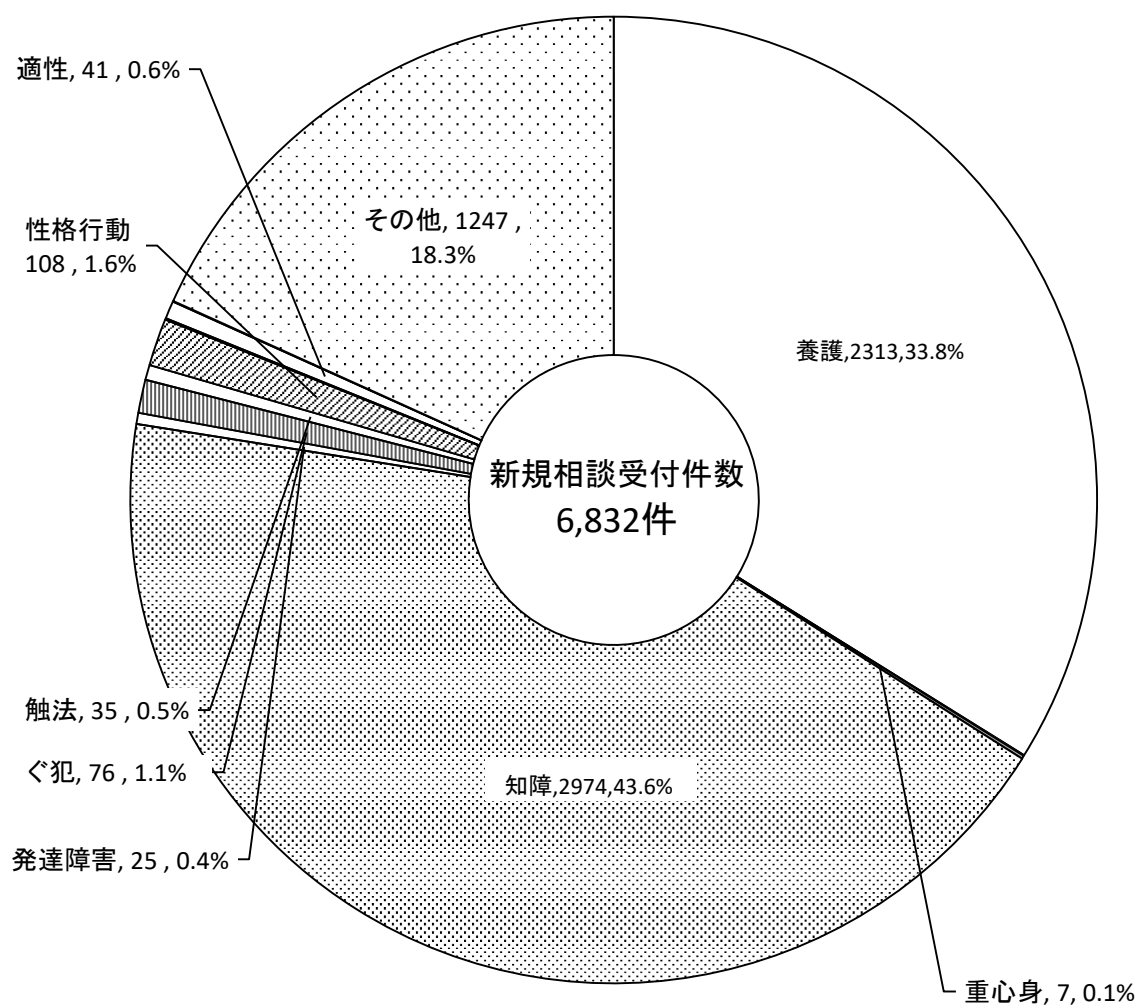
（単位：件）

相談種別 年 齢	養 護		保 健 相 談	障 害							非 行	育 成				そ の 他	計
	児 童 虐 待 相 談	そ の 他 の 相 談		肢 体 不 自 由	視 聴 覚 障 害	言 語 発 達 障 害	重 症 心 身 障 害	知 的 障 害	発 達 障 害	ぐ 犯 行 為 等		触 法 行 為 等	性 格 行 動	不 登 校	適 性		
0 歳	127	23														23	173
1 歳	109	10						6								13	138
2 歳	136	9					1	21								20	187
3 歳	153	11		1				91				1				30	287
4 歳	123	10					2	100	2					1		21	259
5 歳	116	10						210	2			2		9		66	415
6 歳	140	8						148	2			3	1	10		48	360
7 歳	103	8					1	186	2		2	3				28	333
8 歳	99	22						127	1			8			1	38	296
9 歳	102	11					1	199			1	5				47	366
1 0 歳	119	16						162	1	2	3	7	1			44	355
1 1 歳	107	14						247	3	1	3	5				78	458
1 2 歳	118	27						189		4	13	11	1			80	443
1 3 歳	108	34		1				260	3	19	9	22				76	532
1 4 歳	78	22					2	306	5	11	2	15				103	544
1 5 歳	101	26						217	3	15	1	14		5		124	506
1 6 歳	84	20						245	1	13		8		11		75	457
1 7 歳	61	40						251		11	1	3		5		184	556
1 8 歳以上		8						9				1				149	167
計	1,984	329		2			7	2,974	25	76	35	108	3	41	1	1,247	6,832
1歳6ヶ月児精神 発達精密検査 （再掲）																	
3歳児精神発達精 密検査（再掲）																	

(4) 相談種別受付状況

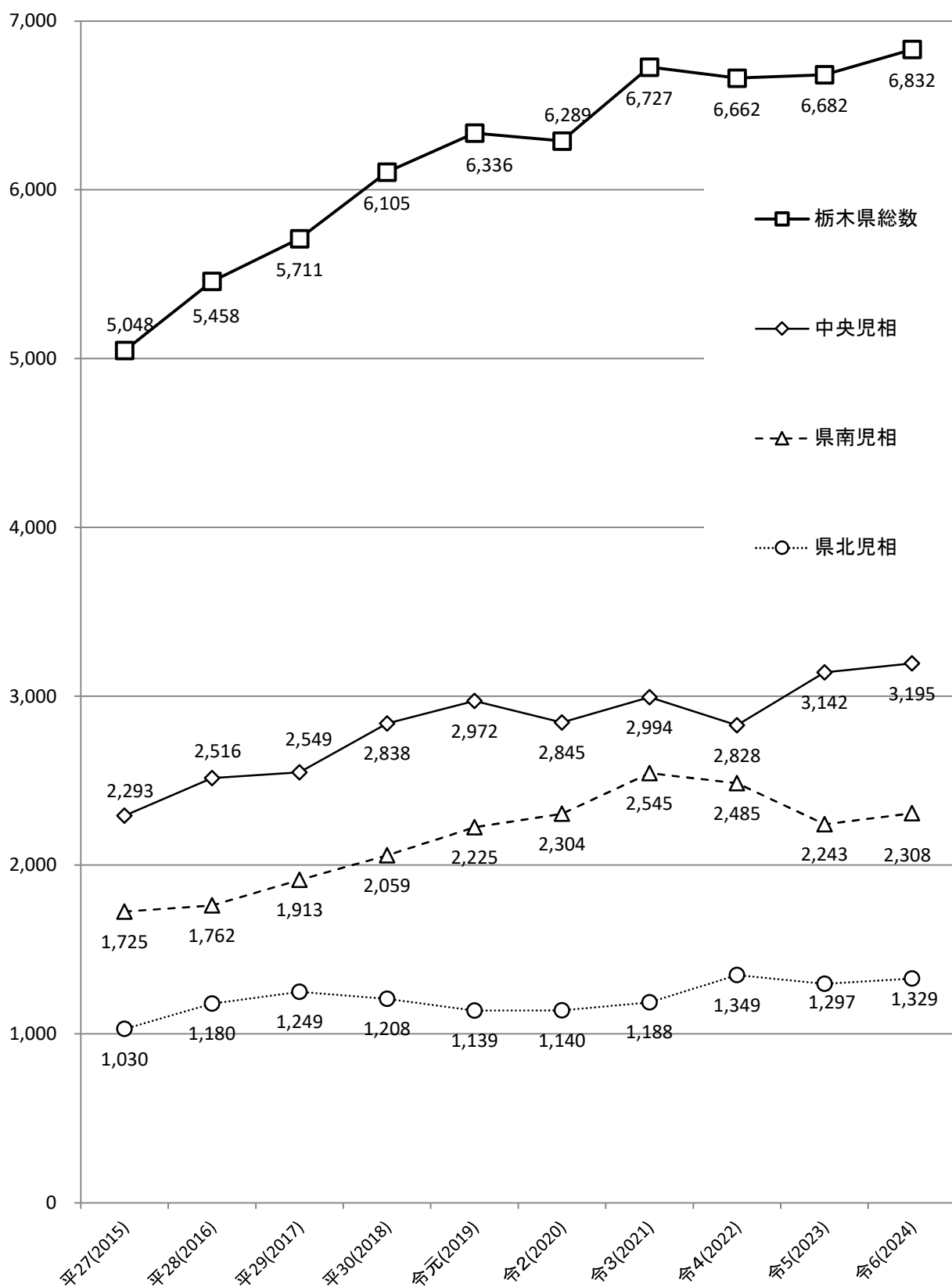
次の円グラフは、新規相談受付件数 6,832件の相談種別の受付状況を示したものである。
この中では知的障害に関する相談が最も多く、2,974件で全体の43.6%を占めている。続いて
養護相談の2,313件（33.8%）、性格行動相談が108件（1.6%）の順となっている。

(単位:件)



(5) 年度別相談件数の推移（平成27(2015)年度～令和6(2024)年度）

次の折れ線グラフは、新規相談受付件数（「電話相談を除く」数値）の10年間の推移を表したものである。



(6) 年度別・児童相談所別・相談種別受付状況

次の表は、新規相談受付件数（「電話相談を除く」の数値）の10年間の推移を表したものである。

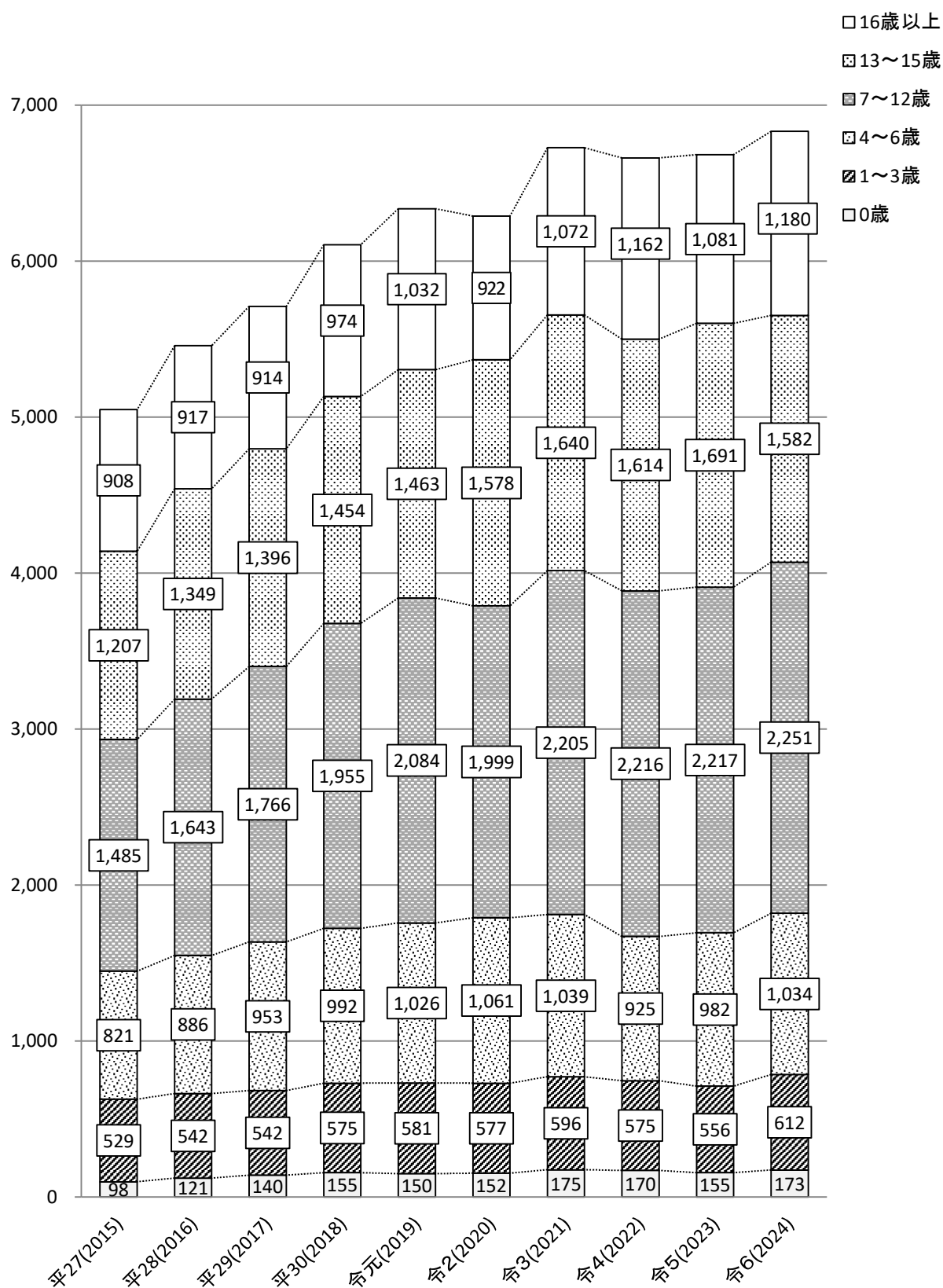
(単位：件)

年度	相談種別 児相別	養 護		保 健	障 害					非 行		育 成				そ の 他	計	
		児 童 虐 待 相 談	そ の 他 の 相 談		肢 体 不 自 由	視 聴 覚 障 害	言 語 発 達 障 害	重 症 心 身 障 害	知 的 障 害	発 達 障 害 等	ぐ 犯 行 為 等	触 法 行 為 等	性 格 行 動	不 登 校	適 性			し っ け
平 27 (2015)	中央	499	144		2		16	10	1,127	11	55	16	48	7	21	1	336	2,293
	県南	307	96		2		35	6	1,029	21	20	14	14	4	45	16	116	1,725
	県北	165	69				8		513	18	9	14	37	2	4	11	180	1,030
	計	971	309		4		59	16	2,669	50	84	44	99	13	70	28	632	5,048
平 28 (2016)	中央	501	150		3		26	3	1,261	9	55	33	51	10	26		388	2,516
	県南	350	75				30	5	1,026	17	26	29	13	1	60	2	128	1,762
	県北	268	50		2		5	1	548	8	12	15	21	3	3	5	239	1,180
	計	1,119	275		5		61	9	2,835	34	93	77	85	14	89	7	755	5,458
平 29 (2017)	中央	521	136				8	6	1,253	2	41	19	35	6	23	10	489	2,549
	県南	408	73		3		33	11	950	14	28	15	27	2	37	1	311	1,913
	県北	288	57				6	2	504	4	7	7	14	8	2	10	340	1,249
	計	1,217	266		3		47	19	2,707	20	76	41	76	16	62	21	1,140	5,711
平 30 (2018)	中央	722	121		1		4	4	1,274	9	63	20	56	10	26	14	514	2,838
	県南	406	91				23	4	982	18	36	19	55		38	3	384	2,059
	県北	284	59				5	2	540	8	7	8	26	7	11	3	248	1,208
	計	1,412	271		1		32	10	2,796	35	106	47	137	17	75	20	1,146	6,105
令 元 (2019)	中央	825	114		1		5	4	1,278	5	36	14	54	7	25	13	591	2,972
	県南	580	61		3		25	4	999	9	26	14	56		34		414	2,225
	県北	307	54				2		490	6	4	9	17		13		237	1,139
	計	1,712	229		4		32	8	2,767	20	66	37	127	7	72	13	1,242	6,336
令 2 (2020)	中央	692	98				1	6	1,254	10	32	7	49	6	26	6	658	2,845
	県南	660	78				20	5	1,005	10	24	13	39	2	17	1	430	2,304
	県北	274	54						470	4	9	3	12		3		311	1,140
	計	1,626	230				21	11	2,729	24	65	23	100	8	46	7	1,399	6,289
令 3 (2021)	中央	680	85		3		3	8	1,337	15	39	6	56	7	21	3	731	2,994
	県南	672	51		1		23	7	1,124	6	17	12	32		39	1	560	2,545
	県北	286	50					1	512	2	6	7	15	1	7	2	299	1,188
	計	1,638	186		4		26	16	2,973	23	62	25	103	8	67	6	1,590	6,727
令 4 (2022)	中央	633	80		3			5	1,244	19	40	8	52	4	7	4	729	2,828
	県南	665	38				8	4	1,074	18	26	8	42		34	2	566	2,485
	県北	363	54						539	3	16	8	16	2	2	1	345	1,349
	計	1,661	172		3		8	9	2,857	40	82	24	110	6	43	7	1,640	6,662
令 5 (2023)	中央	797	114					2	1,374	23	48	19	64	1	27	2	671	3,142
	県南	664	41					4	1,142	7	37	12	63		31	1	241	2,243
	県北	347	52					1	562		6	2	24	1	2		300	1,297
	計	1,808	207					7	3,078	30	91	33	151	2	60	3	1,212	6,682
令 6 (2024)	中央	957	155		1			1	1,321	25	34	12	45	1	7		636	3,195
	県南	706	100		1			5	1,087		28	19	34	2	30	1	295	2,308
	県北	321	74					1	566		14	4	29		4		316	1,329
	計	1,984	329		2			7	2,974	25	76	35	108	3	41	1	1,247	6,832

(7) 年齢別受付構成の推移（平成27(2015)年度～令和6(2024)年度）

次の表は、新規相談受付件数（「電話相談を除く」の数値）の10年間の推移を表したものである。

（単位：件）



(8) 児童相談所別・市町別相談受付状況

ア 中央児童相談所

(単位：件)

児童相談所	市郡	相談種別 市町別	養護		保 健	肢 体 不 自 由	視 聴 覚 障 害	言 語 発 達 障 害	重 症 心 身 障 害	知 的 障 害	発 達 障 害	ぐ 犯 行 為 等	触 法 行 為 等	性 格 行 動	不 登 校	適 性	し っ け	そ の 他	計
			児童虐待相談	その他の相談															
中央児童相談所	市	宇都宮市	665	101					1	841	22	23	5	34	1	5		406	2,104
		鹿沼市	45	6						145	1	1	1	3				59	261
		日光市	46	6		1				86	1	1	2	1				44	188
		真岡市	91	19						138	1	4	3	5		2		61	324
	河内郡	上三川町	25	6						35		4		1				29	100
	芳賀郡	益子町	25	6						25								10	66
		茂木町	2							11								2	15
		市貝町	17	2						15		1		1				6	42
		芳賀町	28	2						18								7	55
		管外	8	2						5								7	22
		県外	5	5						2			1					5	18
		不明																	
		計	957	155		1			1	1,321	25	34	12	45	1	7		636	3,195
		構成比(%)	30.0	4.9		0.0			0.0	41.3	0.8	1.1	0.4	1.4	0.0	0.2		19.9	100.0

イ 県南児童相談所

(単位：件)

児童相談所	市郡	相談種別 市町別	養護		保 健	肢 体 不 自 由	視 聴 覚 障 害	言 語 発 達 障 害	重 症 心 身 障 害	知 的 障 害	発 達 障 害	ぐ 犯 行 為 等	触 法 行 為 等	性 格 行 動	不 登 校	適 性	し っ け	そ の 他	計
			児童虐待相談	その他の相談															
県南児童相談所	市	足利市	156	7						171		4	1	8		15		52	414
		栃木市	113	33						247		6	13	8	1	6		60	487
		佐野市	108	23					2	163		7	3	4	1	2		40	353
		小山市	221	26		1			2	300		3	1	8		4	1	81	648
		下野市	49	6						76		1		2		1		25	160
	下都賀郡	壬生町	34	3						68						1		13	119
		野木町	20	1					1	57		7	1	3				12	102
		管外	5							2				1				10	18
		県外		1						3						1		2	7
		不明																	
		計	706	100		1			5	1,087		28	19	34	2	30	1	295	2,308
		構成比(%)	30.6	4.3		0.0			0.2	47.1		1.2	0.8	1.5	0.1	1.3	0.0	12.8	100.0

ウ 県北児童相談所

(単位：件)

児童相談所	市郡	相談種別 市町別	養護		保 健	肢 体 不 自 由	視 聴 覚 障 害	言 語 発 達 障 害	重 症 心 身 障 害	知 的 障 害	発 達 障 害	ぐ 犯 行 為 等	触 法 行 為 等	性 格 行 動	不 登 校	適 性	し つ け	そ の 他	計
			児童虐待相談	その他の相談															
県北児童相談所	市	大田原市	66	10						97		2	2	6		2		60	245
		矢板市	30	5						55		2		2		1		39	134
		那須塩原市	124	29						185		2		10		1		99	450
		さくら市	39	4					1	80		1	1	4				41	171
		那須烏山市	13	4						45			1	7				24	94
	塩谷郡	塩谷町	4							16								2	22
		高根沢町	21	6						41		2						22	92
	那須郡	那須町	13	3						34								17	67
		那珂川町	2	8						12								3	25
	管 外		3	2						1		5						2	13
	県 外		6	3														7	16
	不 明																		
	計		321	74					1	566		14	4	29		4		316	1,329
	構成比(%)		24.2	5.6					0.1	42.6		1.1	0.3	2.2		0.3		23.8	100.0

(9) 虐待相談受付状況

(単位：件)

児童相談 経路別	都 道 府 県	市 町	設 児 童 福 祉 等 施 施	支 援 セ ン タ ー 児 童 家 庭	こ ど も 園	警 察 等	家 庭 裁 判 所	保 健 所	医 療 機 関	学 校 等	里 親	児 童 委 員	家 族 ・ 親 戚	近 隣 ・ 知 人	こ ど も 本 人	そ の 他	計
中央児童相談所	43	60	8		2	412			46	46			124	190	11	15	957
県南児童相談所	47	20	7			286			27	42			94	167	15	1	706
県北児童相談所	7	17	2			130			11	21			50	58	13	12	321
計	97	97	17		2	828			84	109			268	415	39	28	1,984
構成比(%)	4.9	4.9	0.9		0.1	41.7			4.2	5.5			13.5	20.9	2.0	1.4	100.0

(10) 市町別虐待相談受付件数

ア 中央児童相談所

(単位：件)

	宇都宮市	鹿沼市	日光市	真岡市	上三川町	益子町	茂木町	市貝町	芳賀町	県外・管外	計
市町受付分	561	70	129	48	47	38	4	17	27		941
児相受付分	665	45	46	91	25	25	2	17	28	13	957
市町別計	1226	115	175	139	72	63	6	34	55	13	1,898

イ 県南児童相談所

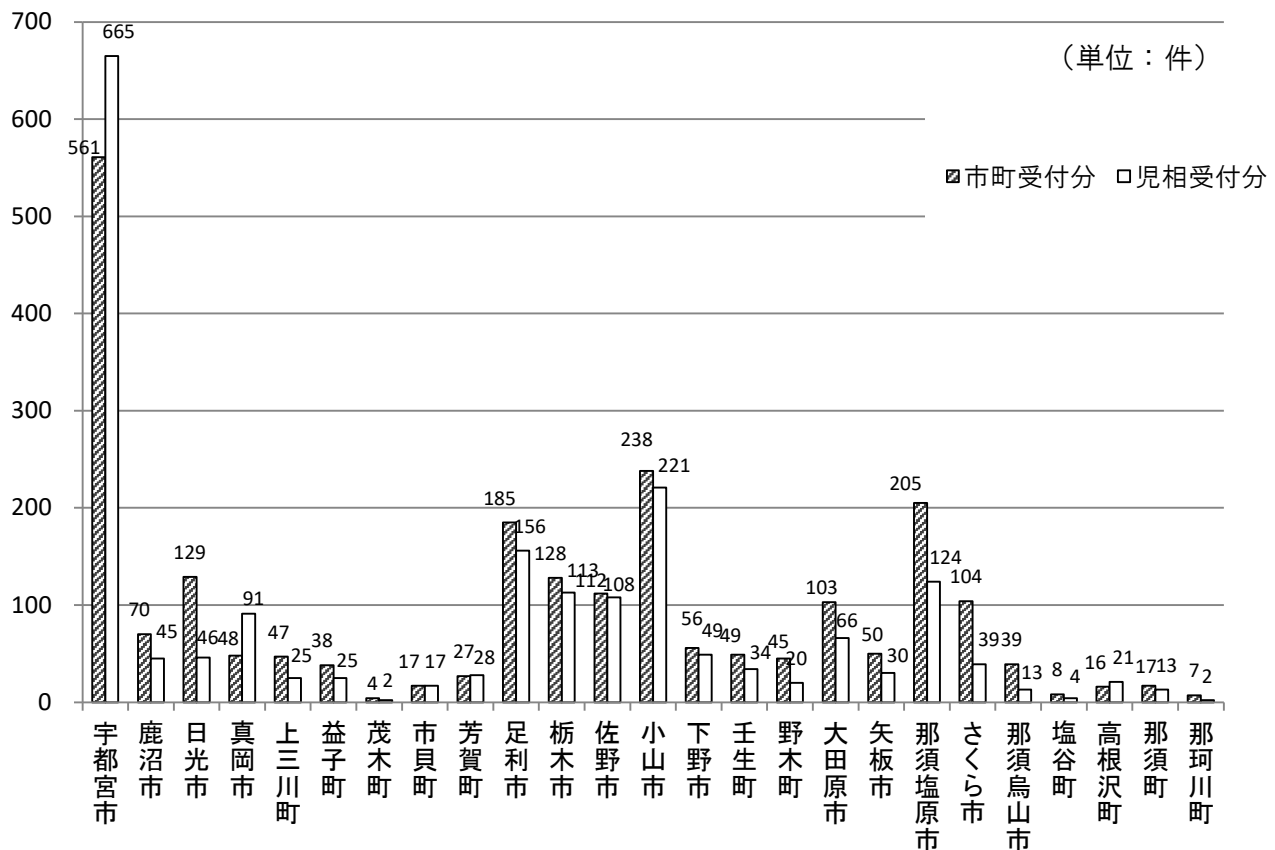
(単位：件)

	足利市	栃木市	佐野市	小山市	下野市	壬生町	野木町	県外・管外	計
市町受付分	185	128	112	238	56	49	45		813
児相受付分	156	113	108	221	49	34	20	5	706
市町別計	341	241	220	459	105	83	65	5	1,519

ウ 県北児童相談所

(単位：件)

	大田原市	矢板市	那須塩原市	さくら市	那須烏山市	塩谷町	高根沢町	那須町	那珂川町	県外・管外	計
市町受付分	103	50	205	104	39	8	16	17	7		549
児相受付分	66	30	124	39	13	4	21	13	2	9	321
市町別計	169	80	329	143	52	12	37	30	9	9	870



2 相談対応状況

児童相談所の相談受付件数（電話相談を除く）6,832 件に対して、年度内に新たに調査、診断、観察等を行い総合的に判定し、具体的な指導方針が決定された件数は 6,729 件（前年度受付件数を含む）である。相談受付件数と対応した件数が異なるのは、年度をまたいで対応した相談事案があるためである。

(1) 援助の種類

児童相談所では、受け付けた相談について次のような対応（援助）を行っている。

ア 在宅指導等

(ア) 措置によらない指導

a 助言指導

1 ないし数回の助言、指示、説得、承認、情報提供等の適切な方法により、問題が解決すると考えられるこども、保護者等に対する指導をいう。

b 継続指導

複雑困難な問題を抱えるこども、保護者等を児童相談所に通所させ、あるいは必要に応じて訪問する等の方法により、継続的にソーシャルワークや心理療法、カウンセリング等を行うものをいう。

c 他機関あっせん

他の専門機関において、医療、指導、訓練等を受けること並びに母子家庭等日常生活支援事業を利用する等、関連する制度の適用が適当と認められる事例については、こどもや保護者等の意見又は意向を確認の上、速やかに当該機関にあっせんすることをいう。

(イ) 措置による指導

a 児童福祉司指導

複雑困難な家庭環境に起因する問題を有するこども等、処遇に専門的な知識、技術を要する事例に対して行う。

b 児童委員指導

問題が家庭環境にあり、児童委員による家族間の人間関係の調整又は経済的援助等により解決すると考えられる事例に対して行う。

c 市町村指導委託

市町村指導は、こどもや保護者の置かれた状況、地理的要件や過去の相談経緯等から、市町村（こども家庭センター）において家庭支援事業を活用するなどして、継続的に寄り添った支援が適当と考えられる事例に対し、児童相談所が行政処分としての指導措置を市町村に委託し、市町村（こども家庭センター）がこどもや保護者等の家庭を訪問し、あるいは必要に応じ通所させる等の方法により行う。

d 児童家庭支援センター指導委託

施設入所までは要しないが、要保護性がある又は施設を退所後間もないなど、継続的な指導措置が必要とされるこども及び家庭であって、児童福祉法 26 条第 1 項第 2 号、第 27 条第 1 項第 2 号による指導が必要と認められ、地理的要件や過去の相談経緯、その他の理由により児童家庭支援センターによる指導が適当と考えられ

るものについて行う。

(ウ) 訓戒・誓約措置

こども又は保護者に注意を喚起することにより、問題の再発を防止し得る見込みがある場合に行い、養育の方針や留意事項等を明確に示すように配慮する。

イ 児童福祉施設入所（通所）措置、指定医療機関委託

(ア) 児童福祉施設入所（通所）措置

児童福祉法第 27 条第 1 項第 3 号の規定により、乳児院、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設等の児童福祉施設に社会的養護を必要とするこどもを入所又は通所させる。

(イ) 指定医療機関委託

重症心身障害児、肢体不自由児について、児童福祉法第 27 条第 2 項の規定により、指定医療機関に入所させて治療、訓練等を行う。

ウ 里親、小規模住居型児童養育事業委託

温かい愛情と正しい理解をもった家庭を与えることにより、愛着関係の形成などこどもの健全な育成をめざし、家庭での養育に欠けるこどもを県知事から認定された里親に委託する。

また、小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）委託では、養育者の住宅を利用し、家庭における養育環境と同様の養育環境の下で、要保護児童の養育に関し相当の経験を有する養育者により、きめ細かな養育を行う。

エ 児童自立生活援助の実施

義務教育を終了した満 20 歳に満たない者で、措置等の解除をされた者や満 20 歳以上の措置解除者等でやむを得ない事情により自立生活援助の実施が必要と都道府県知事が認めた者を対象として、社会的自立の促進をめざし、就職先の開拓や仕事や日常生活上の相談等の援助を行う。

オ 福祉事務所送致等

こどもや保護者等を福祉事務所の知的障害者福祉司又は社会福祉主事に指導させる必要がある場合、助産、母子保護の実施が必要である場合、保育の実施が必要である場合、15 歳以上のこどもについて障害者支援施設又は障害福祉サービスを利用することが適当である場合等に、福祉事務所に送致又は市町村に報告又は通知する。

カ 家庭裁判所送致

触法少年、ぐ犯少年について、児童自立支援施設入所の措置をとることが適当と判断される場合で、その親権を行う者又は後見人がその措置に反対し、かつ児童福祉法第 28 条の要件に合致しない場合に、少年法第 24 条第 1 項第 2 号の保護処分により児童自立支援施設に入所させることが相当と認められる場合等、こどもの最善の利益や専門的観点から判断して家庭裁判所の審判に付することがそのこどもの福祉を図る上で適当と

認められる場合に行う。

また、児童自立支援施設に入所中、又は一時保護中のこどもであって無断外出が著しく、親権行使又は一時保護として認められる場合を除き、行動自由の制限を行う真にやむを得ない事情あると認められる場合に行う。

キ 市町村送致

児童相談所において受理したケースのうち、児童相談所の面接や調査に基づき、安全の緊急性がないと考えられるケースであり、こども及び妊産婦の福祉に関し、情報を提供すること、相談に応ずること、調査及び指導を行うことその他の支援を行うことを要すると認められるケースについては、これを市町村へ送致することができることとする。

(2) 相談種別対応状況(栃木県総計)

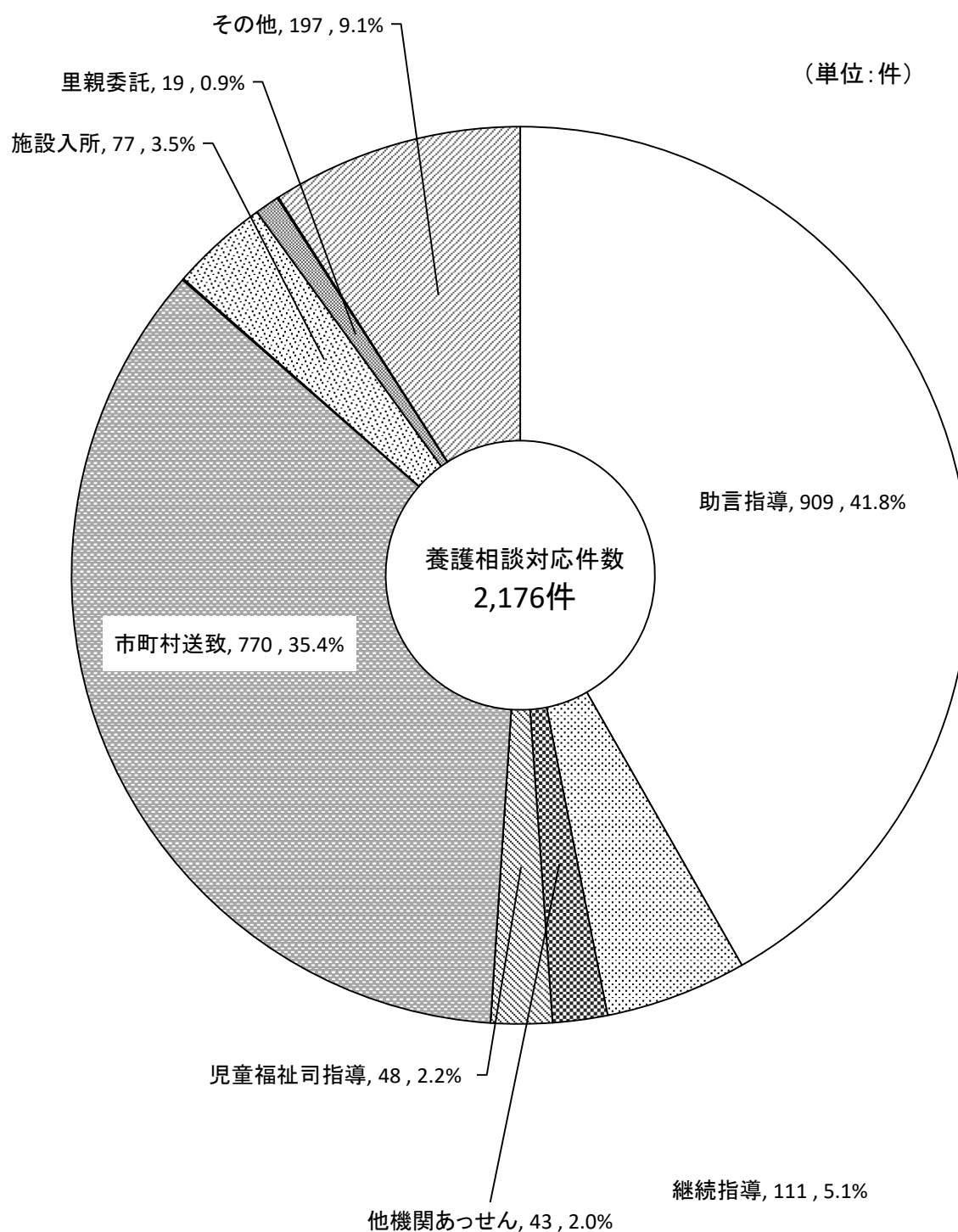
次の表は、令和6(2024)年度に対応した相談について、各種別ごとに処理別に表したものである。

(単位：件)

処理別 相談種別		処 理 件 数 (年 度 中)																	未 処 理 件 数 (年度末現在) 施設入所待機(再掲)		
		面接指導			児 童 福 祉 司 指 導	児 童 委 員 指 導	指 導 児 童 家 庭 支 援 セ ン タ ー ト	市 町 村 指 導 委 託	市 町 村 送 致	福 祉 事 務 所 送 致 等	訓 戒 ・ 誓 約	児 童 福 祉 施 設		指 定 医 療 機 関 委 託	里 親 委 託	家 庭 裁 判 所 送 致	利 害 児 入 所 契 約 等 の 他	そ の 計			施設入所待機(再掲)
		助 言 指 導	継 続 指 導	他 機 関 あ つ せ ん								入 所	通 所								
養護	虐待相談	733	55	39	47				760	1		47			5			165	1,852		298
	その他相談	176	56	4	1				10			30			14		1	32	324		99
保健																					
肢体不自由		1	1														1		3		3
視聴覚障害																					
言語発達障害																					2
重症心身障害		1	4														2	1	8		2
知的障害		2,948	3															61	3,012	3	175
発達障害		24																	24		3
ぐ犯行為等		56	4	5								3				1		7	76		23
触法行為等		21	4	1	1							1						6	34		16
性格行動		82	17		1							3						4	107		44
不登校		2																	2		4
適性		20																21	41		4
しつけ		1																	1		1
その他		7	14		6		2					3			2			1,217	1,251		234
計		4,072	158	49	56		2		770	1		87			21	1	4	1,514	6,735	3	908
構成比(%)		60.5	2.3	0.7	0.8		0.0		11.4	0.0		1.3			0.3	0.0	0.1	22.5	100.0		

(3) 養護相談対応状況

次の円グラフは、令和6(2024)年度に対応した養護相談 2,176件を対応別に表したものである。全体の49.0%が助言指導を主とした「面接指導」で対応されており、児童福祉施設入所、里親委託による措置は、全体の4.4%程度となっている。その他の対応には、施設に入所中の児童の所在期間の延長や、関係機関からの囑託や援助依頼に対する回答などが含まれる。



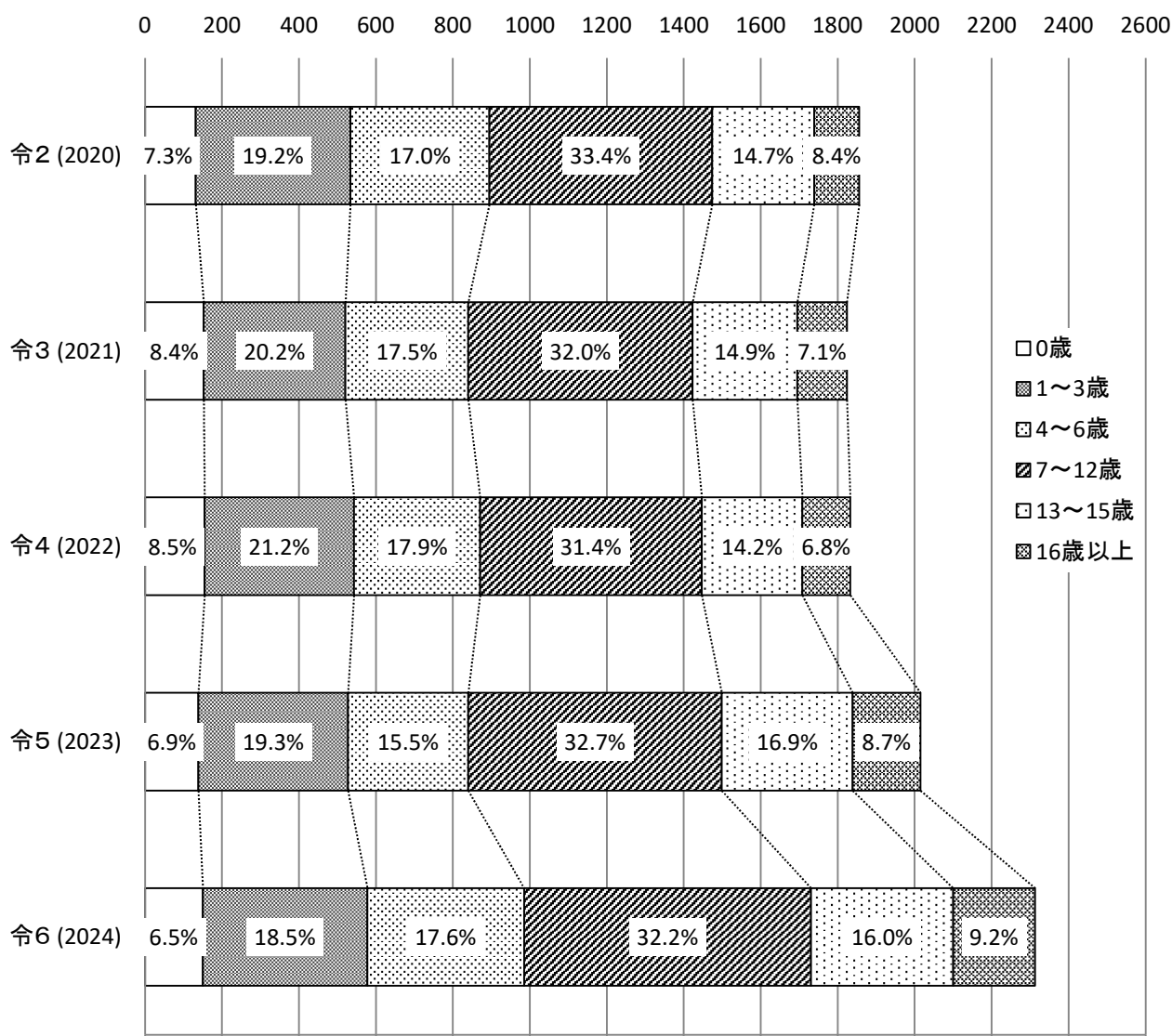
(4) 養護相談における受付・対応の状況

ア 養護相談年齢別受付構成の年度別推移（栃木県総計）

（単位：件）

年齢別 年度別		0歳		1～3歳		4～6歳		7～12歳		13～15歳		16歳以上		合計
		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比					
令2(2020)		132	7.3%	402	19.2%	361	17.0%	579	33.4%	265	14.7%	117	8.4%	1,856
令3(2021)		153	8.4%	368	20.2%	319	17.5%	583	32.0%	272	14.9%	129	7.1%	1,824
令4(2022)		155	8.5%	388	21.2%	328	17.9%	576	31.4%	261	14.2%	125	6.8%	1,833
令5(2023)		139	6.9%	389	19.3%	312	15.5%	659	32.7%	340	16.9%	176	8.7%	2,015
令6(2024)		150	6.5%	428	18.5%	407	17.6%	746	32.2%	369	16.0%	213	9.2%	2,313

（単位：件）



イ 児童虐待に関する相談対応件数

(ア) 児童相談所別相談対応件数の年度別推移

(単位：件)

児相別 年度別	中央児童相談所	県南児童相談所	県北児童相談所	合 計
令 2 (2020)	706	619	270	1,595
令 3 (2021)	676	660	289	1,625
令 4 (2022)	635	624	368	1,627
令 5 (2023)	773	626	346	1,745
令 6 (2024)	862	662	328	1,852

(イ) 相談対応の経路別件数年別推移（栃木県総計）

(単位：件)

経路別 年度別	都道府 県等	市町村	児童福祉 施設等	児家 セン	こども 園	警察等	家裁	保健所・ 医療機関	学校等	里親	児童 委員	家族	親戚	近隣・ 知人	本人	その他	合 計
令 2 (2020)	94	76	19			601		40	58	1		189	37	431	27	22	1,595
令 3 (2021)	108	60	21		1	629		44	76		1	168	52	412	32	21	1,625
令 4 (2022)	102	62	24			662		63	93			176	37	344	33	31	1,627
令 5 (2023)	91	55	9	2		751		62	89			205	52	363	25	41	1,745
令 6 (2024)	105	77	17	1	2	810		67	92			203	37	383	32	26	1,852
構成比(%)	5.7	4.2	0.9	0.1	0.1	43.7		3.6	5.0			11.0	2.0	20.7	1.7	1.4	100.0

(ウ) 主な虐待者の年度別推移（栃木県総計）

(単位：件)

虐待者別 年度別	実父	実父以外 の父親	実母	実母以外 の母親	その他	合 計
令 2 (2020)	552	99	898	12	34	1,595
令 3 (2021)	636	81	880	12	16	1,625
令 4 (2022)	632	92	860	9	34	1,627
令 5 (2023)	622	63	1,009	4	47	1,745
令 6 (2024)	681	58	1,004	12	97	1,852
構成比 (%)	36.8	3.1	54.2	0.6	5.2	100.0

(エ) 被虐待者の年齢別相談対応件数の年度別推移（栃木県総計）

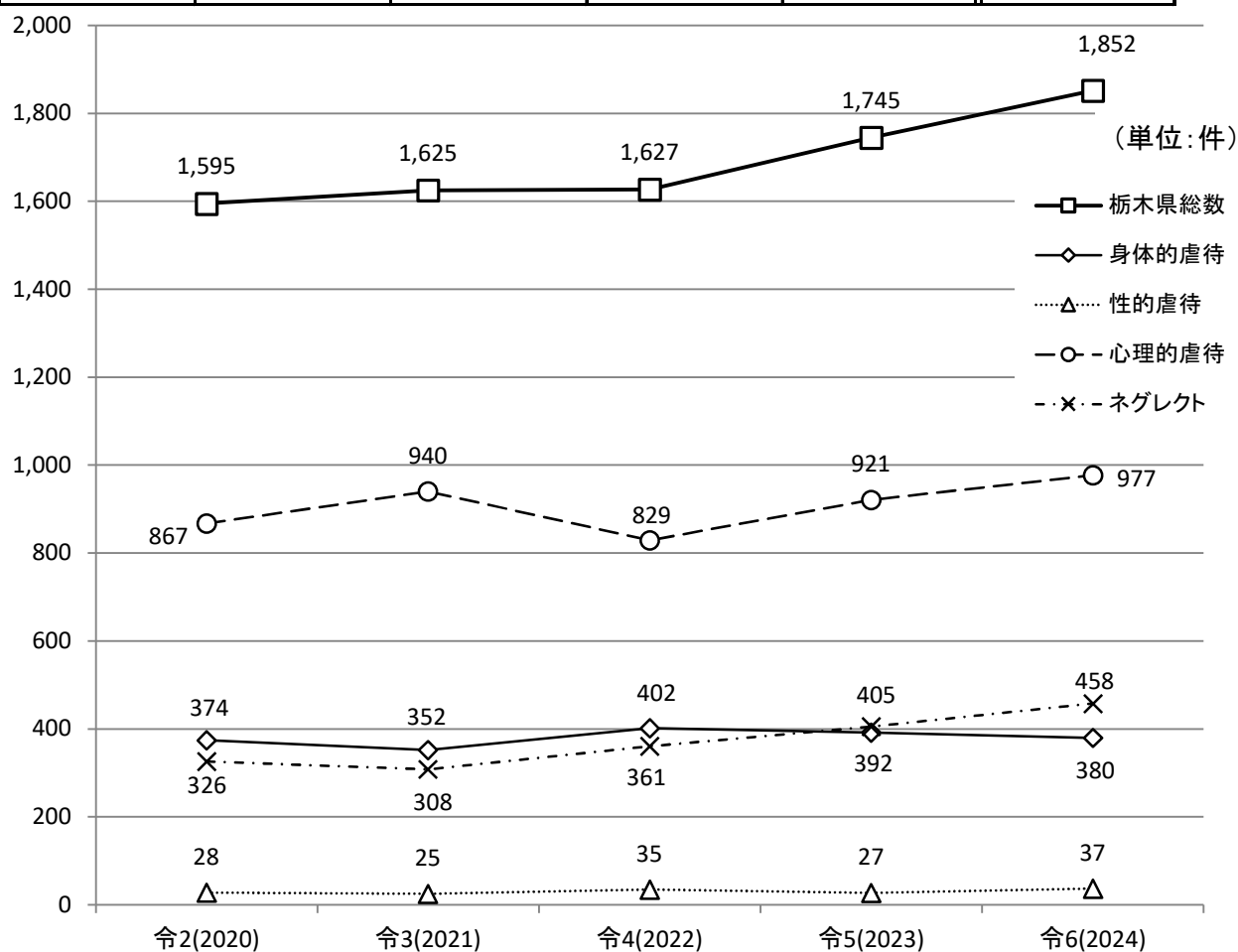
(単位：件)

年齢別 年度別	0～3歳未満	3～学齢 前児童	小学生	中学生	高校生・その他	合 計
令 2 (2020)	355	382	532	220	106	1,595
令 3 (2021)	340	344	549	252	140	1,625
令 4 (2022)	344	375	527	252	129	1,627
令 5 (2023)	388	354	577	256	170	1,745
令 6 (2024)	355	406	638	281	172	1,852
構成比 (%)	19.2	21.9	34.4	15.2	9.3	100.0

(オ) 被虐待者の虐待種別対応件数の年度別推移（栃木県総計）

(単位：件)

虐待種別 年度別	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	ネグレクト	合 計
令2(2020)	374	28	867	326	1,595
令3(2021)	352	25	940	308	1,625
令4(2022)	402	35	829	361	1,627
令5(2023)	392	27	921	405	1,745
令6(2024)	380	37	977	458	1,852
構成比(%)	20.5	2.0	52.8	24.7	100.0



(カ) 親権・後見人関係（栃木県総計）（令和6年度対応件数）

(単位：件)

区 分	法第28条第1項第1号・第2号による措置	親権喪失宣告の請求	後見人選任の請求	後見人解任の請求
請 求 件 数	6			
承 認 件 数	6			

(注) 児童福祉法第28条第1項第1号・第2号は、保護者がその児童を虐待し、著しくその監護を怠る等の理由で児童を里親委託、施設入所措置する際に、親権を行う者又は後見人の意に反するときは、家庭裁判所の承認を得てその措置をとることができるというもの。

※前年度請求分含む

ウ 児童相談所別・市町別・虐待種別相談対応状況（児童相談所対応分）

(ア) 中央児童相談所

(単位：件)

児 相 相 談 所	市・ 郡	虐待種別	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	ネグレクト	計
		市町別					
中 央 児 童 相 談 所	市	宇 都 宮 市	113	8	317	145	583
		鹿 沼 市	8		17	19	44
		日 光 市	8	1	23	12	44
		真 岡 市	21		30	35	86
	河内郡 芳賀郡	上 三 川 町	3	4	8	2	17
		益 子 町	7		9	6	22
		茂 木 町	1		1		2
		市 貝 町			11	3	14
		芳 賀 町	5	1	17		23
		管 外	3		6	6	15
		県 外	2		7	3	12
		計	171	14	446	231	862
		構 成 比 (%)	19.8	1.6	51.8	26.8	100.1

(イ) 県南児童相談所

(単位：件)

児 相 相 談 所	市・ 郡	虐待種別	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	ネグレクト	計
		市町別					
県 南 児 童 相 談 所	市	足 利 市	20	5	83	25	133
		栃 木 市	16	7	81	10	114
		佐 野 市	25		56	14	95
		小 山 市	43	1	115	52	211
		下 野 市	15	2	28	5	50
	下都賀郡	壬 生 町	9	1	17	9	36
		野 木 町	2		10	6	18
	管 外	管 外	1		2		3
		県 外			1	1	2
	計	計	131	16	393	122	662
		構 成 比 (%)	19.8	2.4	59.4	18.4	100.0

(ウ) 県北児童相談所

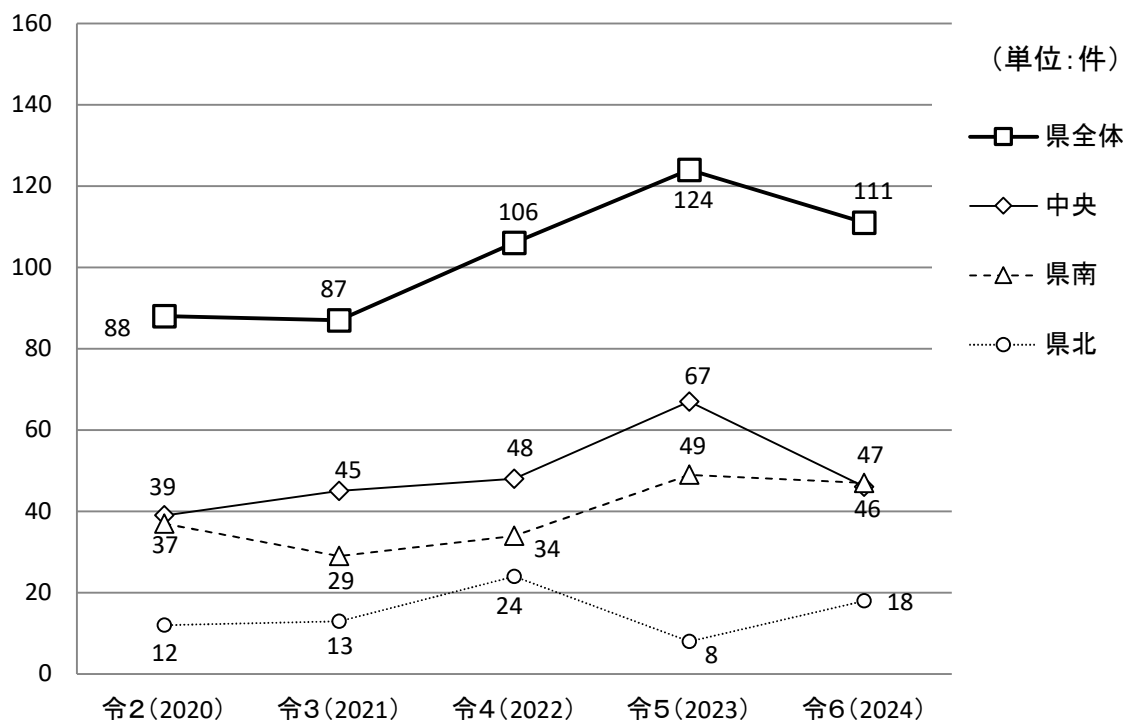
(単位：件)

児 相 相 談 所	市・ 郡	虐待種別	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	ネグレクト	計
		市町別					
県 北 児 童 相 談 所	市	大 田 原 市	18		34	17	69
		矢 板 市	5	1	16	7	29
		那 須 塩 原 市	30	2	52	43	127
		さ く ら 市	11	2	12	13	38
		那 須 烏 山 市	5		4	3	12
	塩 谷 郡	塩 谷 町	2		2		4
		高 根 沢 町	2	2	5	13	22
	那 須 郡	那 須 町	3		7	5	15
		那 珂 川 町	1		1		2
	管 外					4	4
	県 外		1		5		6
	計		78	7	138	105	328
	構 成 比 (%)		23.8	2.1	42.1	32.0	100.0

(5) 非行相談における受付・対応の状況

ア 非行相談の年度別受付推移（栃木県総計）（単位：件）

年 度	県全体	中央	県南	県北
令 2（2020）	88	39	37	12
令 3（2021）	87	45	29	13
令 4（2022）	106	48	34	24
令 5（2023）	124	67	49	8
令 6（2024）	111	46	47	18



イ 経路別受付状況の推移（栃木県総計）（単位：件）

経路別	令 2 (2020)		令 3 (2021)		令 4 (2022)		令 5 (2023)		令 6 (2024)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
警 察	37	28	43	33	49	37	37	63	49	38
学 校										
福 祉 事 務 所		2								
家 庭	8	1	3	2	4	1	4	2	5	3
児童福祉施設	1						1			
家庭裁判所	4			1	2			1	1	
県 市 町 村		1			4	9	3	8	8	2
そ の 他	4	2	3	2			1	4	3	2
合 計	54	34	49	38	59	47	46	78	66	45

ウ 非行内容の年度別受付推移（栃木県総計）

（単位：件）

種別	令2 (2020)	令3 (2021)	令4 (2022)	令5 (2023)	令6 (2024)
怠 学	1			1	1
家出・無断外泊・深夜徘徊	34	34	48	62	42
不健全性的行為	3		6	9	2
不良交遊	2	2	2	1	
金品持ち出し	2	3	1	1	3
粗暴行為	13	9	8	2	12
脅迫・恐喝		2	1		2
窃 盗	14	13	20	20	17
詐欺横領		1		1	
暴行・傷害	1	8	11	17	21
放 火	6	4	3	2	4
薬物乱用					
住居侵入	3			1	1
器物破損	1	9	1		
飲酒・喫煙	1			3	
刃物等所持	1			4	
そ の 他	6	2	5		6
合 計	88	87	106	124	111

エ 非行相談の男女別対応件数（令和6(2024)年度 栃木県総計）

（単位：件）

区分	面接指導	児童福祉司指導	児童福祉施設入所	家庭裁判所送致	そ の 他	合 計
男	46	1	3	1	12	63
女	39				5	44
合計	85	1	3	1	17	107